

平成27年 9月16日

各 位

富山県農林水産総合技術センター
所 長 谷 徹 朗

平成27年度試験研究成果発表会及び第1回林産技術講習会の開催について（ご案内）

日頃から、当センターの事業推進にご支援とご協力をいただき、厚く御礼申しあげます。

この度、平成27年度の木材研究所研究成果発表会及び第1回林産技術講習会（富山県森林・木材研究所振興協議会、富山県林政協議会との共催）を下記のとおり開催いたします。業務ご多忙の折りとは存じますが、ご出席くださいますようご案内申しあげます。

記

1. 日 時 平成27年10月16日（金） 13:30～16:30
2. 場 所 富山県農林水産総合技術センター 木材研究所
管理棟2階研修室（〒939-0311 射水市黒河新 4940）
3. 研究成果発表会のテーマ及び発表者
(1) 非接着接合による組立て梁の設計法の開発
木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 園田 里見
(2) スギ樹皮を用いた育苗床土、培土の開発
木材研究所 木質製品課 主任専門員 田近 克司
4. 林産技術講習会
「不燃木材の現状と課題」
奈良県森林技術センター 所 長 伊藤 貴文 氏
5. 発表及び講習会の内容 別紙のとおり
6. その他 車でご来場される方は、研究所構内の駐車スペースに駐車してください。
7. 申込み・ 木材研究所 木質製品課（担当：田近）
問合せ先 TEL 0766-56-2917（直通） FAX 0766-56-3405
※参加ご希望の方は、10月9日（金）までに下記の申込書に必要事項をご記入の上、このまま FAXしてください。

平成27年度試験研究成果発表会及び林産技術講習会参加申込書 (FAX 0766-56-3405)

御所属		御氏名	参加予定人数（ ）名
連絡先	住所		
	TEL		
	FAX		

発表及び講習会の内容

1 発表

- (1) 非接着接合による組立て梁の設計法の開発 13:45～14:15

木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 園田 里見

中・大規模の木造建築では比較的長いスパンの梁に集成材を用いるのが一般的ですが、接着剤を使わない梁を用いたいという要望もあります。釘や木栓で組立てた梁は、梁としての部材設計が極めて難解です。そこで、基礎理論を見直し、より簡便な計算法を開発しました。釘着梁で検証したところ、高い精度で梁たわみを予測できました。なお、本研究は「公共建築物における木造化技術の開発」の一環として行いました。

- (2) スギ樹皮を用いた育苗床土、培土の開発 14:15～14:45

木材研究所 木質製品課 主任専門員 田近 克司

今後、県産スギ材の生産拡大に伴い樹皮の発生量も増大が見込まれます。本研究では、スギ樹皮を栽培資材等の新規用途に利用することを目的に、農業研究所、園芸研究所と共同で、スギ樹皮の簡易無害化技術（木研）および水稲育苗用床土（農研）、野菜・花き用培土（園研）、果樹用マルチ材（果樹研）、法面緑化資材（木研）への利用適性について検討しました。それらの結果について報告します。

2 講習会

- 「不燃木材の現状と課題」 15:00～16:30

奈良県森林技術センター 所長 伊藤 貴文氏

2000年に建築基準法の一部改正があり、一定の性能を満たせば木材であっても不燃材料として認められるようになりました。これを受けて、複数の企業が不燃木材の製造・販売を始め、現在では多くの使用事例を列挙できるようになっています。しかし、これまでに開発された不燃木材は吸湿性が極めて高く、湿度が高いときには空気中の湿気を多量に吸い込み、その水分によって薬剤が噴き出したり、白華したりするトラブルが後を絶ちません。塗装等の表面被覆では根本的解決にならず、現に塗膜を越えての噴き出しや塗膜のはく離、亀裂の発生などの失敗事例が多く見られるようになっています。

そこで、奈良県森林技術センターでは、不燃木材の吸湿性を抑える技術の開発に取り組み、近年実用化例も増えてきました。

当講演会では不燃木材が抱える問題点とその課題解決について紹介します。